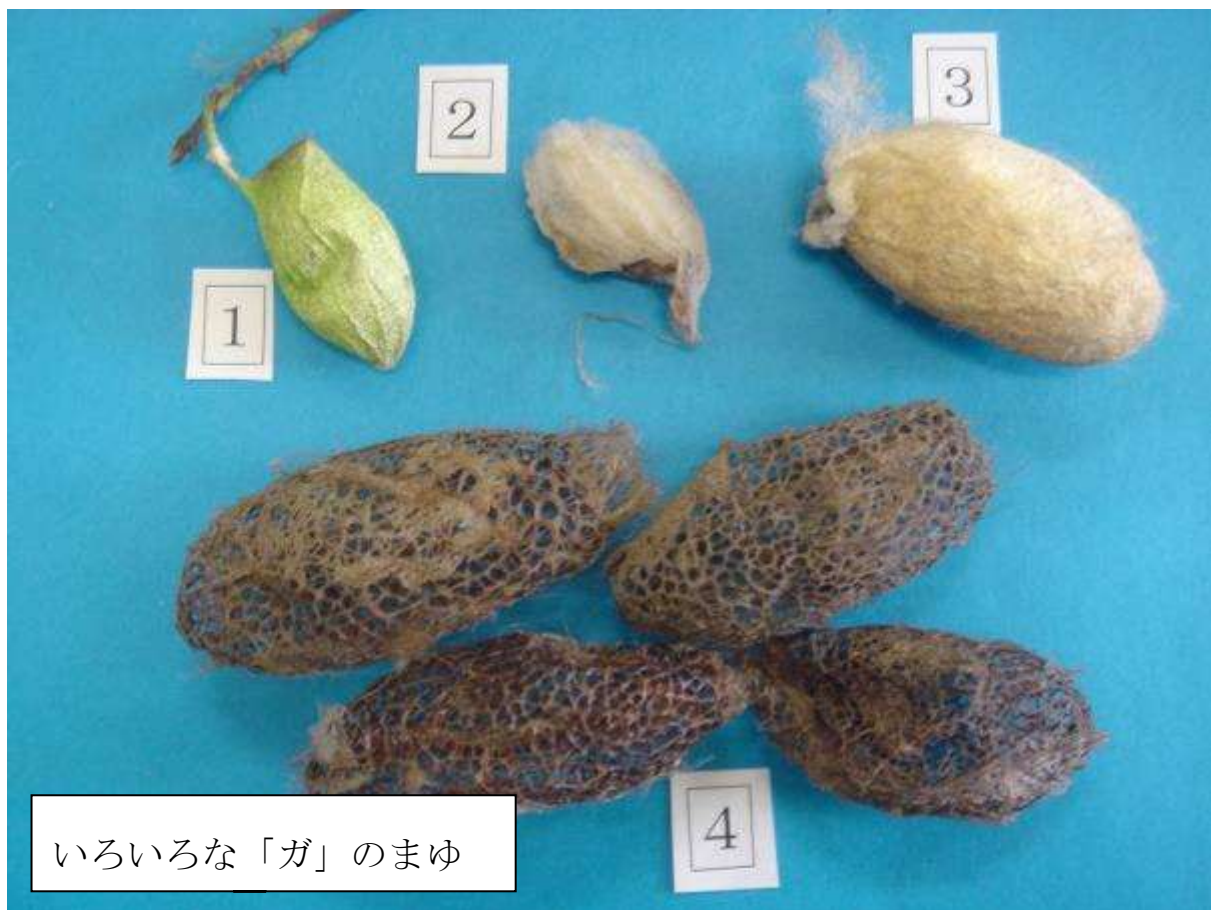


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険4

国立市立国立第七小学校

平成29年3月2日 NO.96 (396)



花ちゃん 「あれあれ・・・これはなんですか。」

オー君 「あれあれ・・・これはひょっとして、いろいろな『ガ』のまゆですね。」

モンタ博士 「ピンポン。そのとおりさ。まゆだね。」

花ちゃん 「まゆといたら、カイコのまゆくらいしか見たことないわ。」

オー君 「まあ、カイコも正しくは『カイコガ』という名前なんだよ。」

花ちゃん 「へえー。そうなんだ。やっぱりオー君はくわしいわね。ところで、まゆとい
ってもいろいろあるんですね。大きさや形などもちがいがあ
るんですね。」

オー君 「そのとおりさ。えーっと。まず①は、ウスタビガのまゆだね。」

花ちゃん 「ちょっと黄緑色きみどりいろしていて、とてもきれいですね。」

オー君 「②は、クワゴけんしゅといって、カイコひんしゅかいりょうの原種まえ（品種改良する前のもとの種類しゅるい）」

なんだ。野生のカイコとよばれているけど、まゆはカイコより小さくてあまりたくさん糸を出さないそうで、利用価値が低かったのさ。」

花ちゃん 「へえー。そうなの。」

オー君 「③はヤマユガのまゆ。5センチくらいあって大きいよ。天蚕といって、絹よりもねだんが高いいんだ。またの名前を《山蚕》と書いて、『ヤマコ』というんだ。これは、《飼蚕》と書いて『カイコ』と呼ぶのに対して使うらしいよ。」

花ちゃん 「へえー。そうなの。それじゃ、④は・・・？何かしら。」

オー君 「これはね、クスサンというガ。網のようなので、スカシダワラともいうんだ。」

花ちゃん 「へえー。そうなの。オー君はいろいろと知っているのね。すごいわね。」

オー君 「『知るは楽しみなり』といって、いろいろ知識をもつことはすばらしいことさ。」

モンタ博士 「ところで、オー君は、どうしてクスサンのまゆは網のようになっているのかな。考えたことあるかな。」

オー君 「そういえば、そうですね。ぼく考えたことはないです。」

モンタ博士 「知識は、とても必要なことだけど、それ以上に、いろいろと自分で想像すること・考えること・感じることは、もっともっと大切なことだと思うよ。」

花ちゃん 「はい。わかりました。でも、どうして、網なのかな。上の①・②・③は、どれも紙のような糸のようなものになっているのね。」

モンタ博士 「自然の世界には、偶然なんてないんだ。それなりに、色や形など、理由やわけがあるんだよ。」

オー君 「うーん。そうか・・・。あ！ひょっとして、クスサンっているガは、夏の暑くて湿度のある季節にガになる、つまり羽化するんじゃないのかな。だって、網みたいになっていれば、いくら暑くても風通しもいいし、中のさなぎだってすずしくて気持ちいいんじゃないかな。」

モンタ博士 「なーるほど。正しいかどうかわからないけど、おもしろい考えだね。花ちゃんはどう思うかな。」

花ちゃん 「うーん。そうですね・・・。考えてもよくわかりません。想像もつきません。この『国立てくてく』を読んで、理由を知っている人はぜひ教えてください。」